

# 2026年度 新入社員育成研修



INFORMATION SYSTEMS AUDIT CORP.

## 2026年度新入社員育成研修のご案内

当研修では、IT技術の基礎からJava開発演習まで、ITのプロを目指す未経験者をサポートすると同時に、プレゼンテーションや開発演習および発表会等の集団活動を通じて社会人への成長を促して参ります。また、様々なストレスを乗り越えてゆくためのヒュームスキル研修も用意しております。

当研修では、各社様の新入社員をお預かりした上でスキルの習得だけでなく、新入社員の皆様の様子を、研修期間の中間時点、および研修終了後にご報告いたします。Web受講を学生時代に経験済みのデジタルネイティブ世代の受講者に対し、技術面やコミュニケーション面で生じかねないギャップの解消や緩和のために、対面型研修を通じて、丁寧に寄り添うことを心掛けております。

是非ご検討をお願いいたします。

### <会社概要>

情報システム監査株式会社 (Information Systems Audit Corp : iSA)			
拠 点	大阪本社 東京本社 名古屋営業所	大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア6階 東京都品川区南品川2-2-13 南品川JNビル8階 名古屋市中区錦2-18-5 白川第6ビル2階	
代 表 者	代表取締役 三谷 康之		
設 立	1985年	資 本 金	5,000万円
事 業 内 容	システム監査事業、情報システム事業、教育事業		
認 証 取 得 等	情報セキュリティ ISO/IEC27001:2013 JISQ27001:2014	 情報セキュリティサービス基準 適合 (経済産業省) 「情報セキュリティ監査」	 情報セキュリティサービス基準 適合 (経済産業省) 「脆弱性診断」

### <アクセス>





# 2026年度 新入社員育成研修 コース概要

2026/4/3（金）～5/29（金）

日程	日数	コース名
4/3（金）～4/6（月）	2	新入社員のための仕事の進め方
4/7（火）～4/8（水）	2	IT基礎
4/9（木）～4/14（火）	4	プログラム基礎Ⅰ
4/15（水）～4/22（水）	6	プログラム基礎Ⅱ
4/23（木）～4/24（金）	2	データベース基礎
4/27（月）	1	ネットワーク基礎
4/28（火）	1	ストレスコントロール
4/30（木）～5/1（金）	2	Web技術
5/7（木）	1	帰社日
5/8（金）	1	プログラム応用Ⅰ
5/11（月）～5/15（金）	5	プログラム応用Ⅱ
5/18（月）～5/28（木）	9	システム開発演習
5/29（金）	1	生産性を上げる仕事の基本

## ◆ 研修環境について

- 本研修会場は、弊社大阪本社と東京本社を予定しております。
- オンライン形式でご受講の日は、**インターネットに接続可能な場所でご受講ください。**
- 研修に必要なPC、参照用機材、プログラム、サービスアカウントは弊社より貸与いたしますので、**ご準備は必要ありません。**また、研修で使用する市販書籍/オリジナルテキストもご提供いたします。

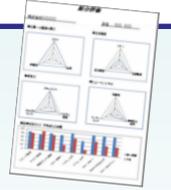
## ◇ オプション研修

ご要望に応じて新入社員育成研修の前後にも研修をご提案いたします。

- 新入社員の**入社前**に**内定者学習**
- 新入社員**研修後**に**技術フォロー研修**



# 2026年度 新入社員育成研修の特長



## ◆ 受講者の進捗や様子、成果をご報告

クラスマネージャーと講師が、「社会人」と「技術者」の2つの視点で受講者への指導・アドバイスを行い、一人ひとりをしっかりとサポートいたします。

<b>研修の実施</b> (4月)	経験豊かな講師陣が研修を実施することで、技術面・メンタル面の指導、アドバイスを効果的に行います。また、毎日のレポートを弊社からのアドバイスを含め、ご担当者様にご確認いただけるようにしています。
<b>中間報告</b> (4月末～5月)	受講開始からの研修の様子や現在の理解度、傾向などをまとめ、中間報告として各社ご担当者様向けにご報告します。5月研修へのご要望や、気になることはこちらでもお受けします。
<b>研修の実施</b> (5月)	ストレスコントロールなどメンタルを制御するスキルや、応用的なプログラムスキルを身につけたあと、グループで1つのシステムをつくり、コミュニケーションをとりながら進める開発演習を行います。
<b>個人別フィードバック</b> (6月以降)	個人別に、研修全体を通じた総合評価や理解度、コミュニケーションの傾向、今後のアドバイスなどをレポートとしてご報告します。技術面・メンタル面だけでなく、定期的にクラスマネージャーによる面談なども行った結果など、日々の研修時に気付いた点などを総括的にご報告します。

## ◆ 研修内容に合わせた受講形式を併用します

当研修の特長は講師の目の届く受講者人数におさえることで、ひとりひとりに対するスキル習得過程の丁寧なサポートと、学生から社会人になり環境が変わることでの不安感を丁寧なヒアリングでフォローする点です、研修開催形式も同カリキュラムを同講師から等しく受けられるよう、**コースの性質に合わせて集合、オンライン、ハイブリッド形式を組合せています。**

- 集合形式（全員集合、対面）：**  
 受講者全員が同じ大阪の研修会場にて、対面形式の研修をご受講いただけます。
- オンライン形式（全員オンライン、Web配信）：**  
 受講者全員がインターネットに接続可能な任意の場所からご受講いただけます。
- ハイブリッド形式（対面・オンライン混在）：**  
 受講会場を大阪または東京のいずれかを選択いただき、会場ごとに、対面もしくはオンラインにてご受講いただけます。



コース毎の開催形式は5Pおよび6Pをご参照ください。

\* オンライン形式は同時双方向形式（Web会議ツールZoom）で実施する予定です。





# 新入社員育成研修で習得できるスキル

## ◆ 社会人スキル養成

### ・ ドキュメンテーションスキル

#### ✓ 議事録の作成

わかりやすい文書を作成するコツや、議事録を効率よく作成するためのポイントを学び、情報を正確に伝達共有する力を身につけます。

#### ✓ レビュー技術

文章の表現方法や誤字脱字のない文書を作成するためのポイントや、自己レビューの観点を習得します。

### ・ プレゼンテーションスキル

#### ✓ 要約力と伝達力

決まった時間内でテーマに沿ったプレゼンテーションを行うことで、話の要点をまとめ、伝える能力を身につけます。

#### ✓ 課題の把握と対策

他の受講者からフィードバックを受けることで、自身のプレゼンテーションにおける課題や対策を検討します。

### ・ コミュニケーションスキル

#### ✓ 聴く力

プレゼンテーションの内容をまとめることで、傾聴力・理解力を養います。グループ演習では課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」技術について学びます。

#### ✓ 問題解決能力と積極性

グループ内で把握した課題の検討を行い、問題解決能力の向上を目指します。他の受講者と相互補完を行うことにより、日々の課題を明確にし、主体的に取り組む積極性を養います。

## ◆ 技術スキル養成

### ・ コンピュータへの興味と知識

#### ✓ IT業界、技術への興味の醸成

IT業界ではどのように仕事を進めるのか、どのような業務をシステム化するのか、どのような技術を使うのかを幅広く知るためのコースを用意しています。

#### ✓ ロールプレイや実機を使った演習

コンピュータの原理を修得します。情報処理の基本のほか、演習などを通じて、インターネットサービスやアプリを支えるしくみについて学びます。

### ・ 納得と成功体験の積み上げ

#### ✓ プログラミング

研修に加え、書籍やインターネットを活用し、調べたり質問したりすることで「自分で解決していく」行動パターンを身につけます。

#### ✓ 設計、システム開発演習

重要な開発工程である設計を、オブジェクト指向と一緒に学びます。開発演習ではグループでひとつのWebアプリケーションを開発します。

### ・ SE/PGとして必要な要素

#### ✓ ストレスコントロール

業務に従事するなかで、責任と共に様々なストレスがかかる場合があります。それらにどう対処すれば良いか、感情をコントロールするためのスキルを身につけます。

#### ✓ 仕事のすすめかた

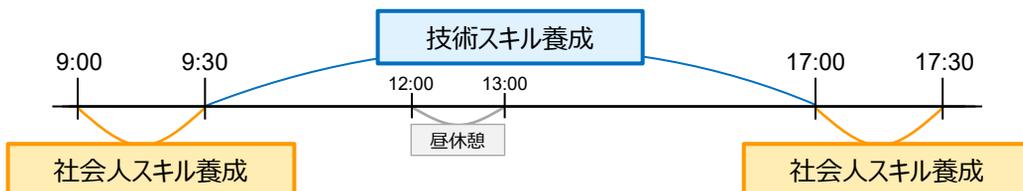
社会人としての「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位のつけ方を身につけます。

## ◆ 一日の流れ

社会人スキルの養成を担当するクラスマネージャーと、技術スキルの養成を担当する講師の複数名体制で受講者をサポートいたします。

研修時間は、1日あたり7.5時間\*です。

\* 12:00~13:00の昼休憩を除く





# 新入社員育成研修 研修カリキュラム

## カレンダー

## カリキュラム

4月	形式	コース名	研修日数	研修概要	学習目標
1 水		新入社員のための仕事の進め方	2日間	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるためのスキルを習得します。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学びます。最初の研修コースとして、社会へのマインドセットを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人としての基本的なマナーを身に着け、実践することができる</li> <li>社会人として必要な文書作成技術を修得し、適切に使い分けすることができる</li> <li>プレゼンテーションを作成し、適切に伝えたいことを伝えることができる</li> </ul>
2 木					
3 金	★	IT基礎	2日間	技術研修の導入として、IT業界で取り扱う各業務や知識と、コンピュータの仕組み、セキュリティ等テクノロジーに関する知識、AIをはじめとした新しい知識について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT業界で提供されているサービスや、情報システム、提供形態などについて説明できる</li> <li>情報システムやコンピュータの仕組み、セキュリティ等テクノロジーについて説明できる</li> <li>AIをはじめとした新しい技術について概要を説明できる</li> </ul>
4 土					
5 日					
6 月	■	プログラム基礎 I	4日間	基本的なアルゴリズムを学び、簡単な処理仕様に適したアルゴリズムを選択するためのスキルを習得します。また、その処理仕様をJavaプログラムとして記述するための文法を学んだあと、個人演習で理解度を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なアルゴリズムを説明できる</li> <li>処理仕様から適切なアルゴリズムを選択することができる</li> <li>選択したアルゴリズムをJava文法に基づいて実装できる</li> </ul>
7 火	■				
8 水	■				
9 木	◎				
10 金	◎				
11 土					
12 日					
13 月	◎	プログラム基礎 II	6日間	オブジェクト指向のプログラム言語に必要な機能を習得します。また、よく使用される標準クラスライブラリを使った機能の実装を修得し、最終的に個人演習で理解度を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス、インタフェースなどオブジェクト指向の特徴を取り入れたプログラムを作成することができる</li> <li>APIドキュメントを見て、クラスやメソッド、例外を調べることができる</li> <li>ユースケース図、クラス図、画面遷移図等の役割を理解し、これらを元にJavaのプログラムが作成できる</li> </ul>
14 火	◎				
15 水	◎				
16 木	◎				
17 金	■				
18 土					
19 日					
20 月	◎	データベース基礎	2日間	データベース管理システムの機能などの基本知識と、リレーショナルデータベースの操作言語であるSQLの基本文法を学習します。また、実機を使用してSQLによる表の操作から定義・作成スキルを習得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベース管理システムの概要を理解し、クライアントからSDBMSにアクセスすることができる</li> <li>SQL文を使用して、仕様に基づいた適切な結果を得ることができる</li> </ul>
21 火	◎				
22 水	◎				
23 木	■				
24 金	■				
25 土					
26 日					
27 月	■	ネットワーク基礎	1日間	ネットワークを介した通信のイメージをつけ、TCP/IPアーキテクチャを中心に、構成要素についての知識を実習を交えて習得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムやサービスの中でのネットワーク技術を説明できる</li> <li>サーバにネットワークを介してアクセスさせるために必要な要素や設定について説明、設定できる</li> </ul>

初日（4/3）以外の開催形式は変更の可能性があります。

- ★… 集合形式  
※大阪の研修会場に集合
- … オンライン形式
- ◎… ハイブリッド形式  
※会場ごとに、対面もしくはオンラインで受講



# 新入社員育成研修 研修カリキュラム

## カレンダー

4月	形式
28 火	■
29 水	
30 木	■

5月	形式
1 金	■
2 土	
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	
7 木	■ 帰社日
8 金	◎
9 土	
10 日	
11 月	◎
12 火	◎
13 水	◎
14 木	■
15 金	■
16 土	
17 日	
18 月	◎
19 火	◎
20 水	◎
21 木	◎
22 金	◎
23 土	
24 日	
25 月	◎
26 火	◎
27 水	◎
28 木	■
29 金	■
30 土	
31 日	

## カリキュラム

コース名	ストレス・コントロール
研修日数	1 日間
研修概要	社会人としての円滑なコミュニケーションを図り、感情をコントロールする術を習得します。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を分析し、理解する。また、他者の理解への助けにする</li> <li>感情をコントロールし、怒る技術を身につける</li> </ul>

コース名	Web技術
研修日数	2 日間
研修概要	Webアプリケーション開発のための知識を習得します。Webサーバとクライアント間の通信、Webページ構築、HTML/CSS/一部JavaScriptを取り扱います。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 3 階層システムとサイトと、クライアント/サーバ間での通信を理解する</li> <li>HTML/CSS、スクリプトを使用し、Webページを構築できる</li> </ul>

コース名	プログラム応用 I
研修日数	1 日間
研修概要	Javaアプリケーションからデータベースへの接続、操作を行うスキルを習得します。また、データや用途に合わせた適切なパッケージを使用したプログラムを作成します。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースへの適切な接続、操作、切断について説明できる</li> <li>データベースに合わせた適切なパッケージを利用したプログラムを設計作成することができる</li> </ul>

コース名	プログラム応用 II
研修日数	5 日間
研修概要	Webアプリケーション開発に用いるJavaサーブレット、JSP、ネットワークサーバとの連携について学習します。Javaアプリケーション、データベース、Webシステムと複数のシステムを用いる演習問題に取り組みます。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーブレット、JSPを使用した基本的なプログラムをMVCモデルに基づいて作成することができる</li> <li>セッション管理を用いたプログラムを作成することができる</li> <li>個人で基本的なWebアプリケーションを作成し、正しく動作することを確認する</li> </ul>

コース名	システム開発演習 / 成果発表会
研修日数	9 日間
研修概要	システム開発の疑似体験を行います。グループでシステム開発を行うにあたり、システム開発の流れ、テスト手法、プロジェクト管理について学習します。システム設計から構築、テストを行い、管理ドキュメントとともに納品します。また、最後に成果発表会として、作成したシステムとプロジェクトについて、また新入社員研修についての振り返りとまとめを行います。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発の流れを理解する</li> <li>単体テストについて理解する</li> <li>プロジェクト管理の重要性を理解し、実施できる</li> <li>システムの設計からテストまでの流れを理解し、実施できる</li> <li>システムの仕様を理解し、プレゼンテーションを行う</li> </ul>

コース名	生産性を上げる仕事の基本
研修日数	1 日間
研修概要	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>

2026年度  
新入社員育成研修ご案内



**情報システム監査株式会社**

お問い合わせ先：営業部

大阪 TEL：06-6395-7665

FAX：06-6395-7666

東京 TEL：03-5783-8680

FAX：03-5783-8679

E-mail：[isasales@isanet.co.jp](mailto:isasales@isanet.co.jp) WebSite：

<https://www.isanet.co.jp/>